

デザイン総合実習Ⅱ(製品デザインコース)

必修 開講年次：3年次前期 科目区分：実習 単 位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：デザイン総合実習Ⅰを始め、専門教育科目の履修を踏まえ、問題発現と解決策提案能力、新しい技術や情報を取り込む能力、さらに表現能力を身に付ける課題を与え、具体的な作品制作を通して、実践的なデザイン能力を身に付ける指導を行う。

■**到達目標**：①【造形力の拡張】スケッチ・三面図・手加工に加えCAD・切削加工機等のツールを活用し、造形力を高める手法を習熟する。
②【技術の理解】ハードウェアの内部構造や機構の他、IoTをはじめとする様々なIT関連技術の調査を通して、その仕組みや応用について理解する。
③【製品開発プロセスの理解】既存品の調査分析から新しい製品の提案に到るまでのプロセスを理解する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

安齋 利典・張 浦華・柿山 浩一郎・金 秀敬・小宮 加容子・◎三谷 篤史・矢久保 空遥

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 グループワーク・調査分析
- 第3回 調査分析結果のプレゼンテーション(グループテーマおよび個人制作テーマ)
- 第4回 アイデア展開、アイデアスケッチ
- 第5回 技術調査
- 第6回 制作テーマおよび提案物のまとめ
- 第7回 三面図、スタディモデルの検討(1)
- 第8回 三面図、スタディモデルの検討(2)
- 第9回 三面図、スタディモデルの検討(3)
- 第10回 プロトタイプモデル制作(1)
- 第11回 プロトタイプモデル制作(2)
- 第12回 プロトタイプモデル制作(3)
- 第13回 プロトタイプモデル制作(4)および評価
- 第14回 プレゼンテーション準備
- 第15回 プレゼンテーション(講評)

■**教科書**：適宜資料を配付する。

■**参考文献**：適宜資料を配付する。

■**成績評価基準と方法**：取組み姿勢、提出物、およびプレゼンテーションにより評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
取り組み姿勢	○	○	○	作業プロセス報告、ファイル提出	30
発表			◎	プレゼンテーション	30
課題・作品		○	◎	モデル、パネル	30
出席	○	○	○	欠格条件	10
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習Ⅰ(2年次後期) およびⅢ(3年次後期)、学部間連携演習(3年次後期～4年次前期)、卒業研究(4年次通年)

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：この成果は、就職活動に用いるポートフォリオの素材となるものであり、重要度の高い実習と位置づけ、アウトプットのクオリティを上げること。課題シートやデザインプロセスなどをファイリングしていくのでファイルを忘れずに持参のこと。毎回の出席し、プレゼンテーションや経過報告を必ず行うこと。